



小旗を振って安全運転を呼びかける白糠学園の児童

TOPIC 4 旗の波で安全運転呼びかけ

9/26 交通安全街頭啓発「旗の波作戦」

交通安全街頭啓発「旗の波作戦」が国道38号沿道で行われ、参加者がドライバーに安全運転を呼びかけました。

旗の波作戦は、9月21日から30日までの「秋の全国交通安全運動」に合わせて毎年実施しており、この日は交通指導員をはじめ、町職員や小・中学生、地域住民など約700人が参加。「交通安全」と書かれた黄色い小旗や手を振って、「スピード出さないで」などと道行くドライバーに安全運転を呼びかけました。

TOPIC 1 伊深ファーム雌牛1等賞獲得

9/21 ホルスタインナショナルショウ出場

9月24、25日に安平町で開催される「北海道ホルスタインナショナルショウ」に出場する伊深ファームの伊深洋さんへの激励金贈呈式が役場で行われました。

伊深ファームの雌牛が8月9日に釧路市で開催された「釧路ホルスタイン共進会」第3部（未經産ジュニアクラス）で1等賞1席を獲得しました。

棚野町長は「全道大会を楽しんで、頑張ってきてください」と激励。伊深さんは「釧路管内の牛の良さがPRできるよう頑張ります」と意気込みを語りました。



棚野町長から激励を受けた伊深さん（左）

TOPIC 5 地元食材を恋問館で宣伝

10/1 しらぬか秋の収穫祭

町振興公社主催の地元食材を宣伝する「しらぬか秋の収穫祭」が道の駅しらぬか恋問で開催され、町内外から多くの方が白糠産食材を買い求めたほか、タラバガニの鉄砲汁やタコ飯などを味わいました。

会場では、100杯限定の茹で毛ガニをはじめ、ジャガイモやキャベツなどの新鮮野菜が販売されました。

町在住の田代みゑさんは「帰省している娘と白糠産の食材を食べるのが楽しみです。牛乳の無料配布も助かります」と話していました。



牛乳消費拡大事業の一環で、牛乳の無料配布も行われました



笠原さん(右)のお話しの後に山田さんが偉人の曲をピアノで演奏

TOPIC 2 学校では話せない音楽の偉人エピソード

9/22 公民館講座「おもしろ音楽史」

世界的に有名な作曲家のエピソードをCDとピアノ演奏を聴きながら学ぶ「おもしろ音楽史」が公民館で開催され、9人が参加しました。

講師は元教師の笠原邦夫さんが務め、ピアノ演奏は地域おこし協力隊の山田陽子さんが務めました。笠原さんは「ベートーベンが部屋を汚すなどで70回ほど引越した」「シューベルトは演奏がうまくなかった」などと話しました。参加した色木輝子さんは「興味深いお話しが聞けて楽しかったです」と話していました。

TOPIC 6 おいしいシカ肉が味わえるキャンプ場

10/1 えぞ鹿ファクトリーキャンプ場オープン

北海道えぞ鹿ファクトリー白糠工場（呉奇取締役工場長）は、10月1日にキャンプ場をオープンしました。

同社は、町の活性化とエゾシカ肉の宣伝ができればと、敷地約25,000㎡に全8区画のキャンプ場を整備。工場に併設された売店ではバーベキューセットの貸し出しやエゾシカ肉が販売されています。

この日キャンプ場を訪れた釧路市在住の西村匡さんは「ゆったりと波の音を聞きながら、おいしいシカ肉が食べられるのはいいですね」と話していました。



シカ肉を焼く西村さん（左）と呉奇取締役工場長（右）

TOPIC 3 白糠ロータリークラブ 釧路と合同で海岸清掃

9/25 ロータリー地球環境保全プロジェクト

白糠ロータリークラブ（山田圭祐会長）と釧路ベイロータリークラブ（濱田聖子会長）は、「ロータリー地球環境保全プロジェクト」として、合同で恋問海岸のボランティア清掃を行いました。

同プロジェクトは、それぞれ国や地域で一斉に海岸や河川の清掃を行うもので、昨年に続いて2回目。

この日は、白糠ロータリークラブの会員6人と釧路ベイロータリークラブの会員10人が、ゴミ袋を手にはペットボトルなど約50kgのゴミを拾い集めました。



1時間かけて恋問海岸のゴミを拾い集める参加者